

地域とともに歩む

CS ぐるかわ

発行：胎内市立黒川小学校コミュニティ・スクール学校運営協議会事務局

令和5年度 第3号 2024.3.19

第3回コミュニティ・スクール学校運営協議会

第3回学校運営協議会を1月15日に行いました。今回は、地域との合同防災訓練、クラブ活動の支援についての熟議。さらに、目指す子ども像の具現化を図る取組についての学校関係者評価を行いました。知育、徳育、体育の3つの分野から学校の教育活動について説明の後、委員の皆様から評価をしていただきました。（詳細は学校評価だよりにてお知らせしています）

今年度は、学校運営協議会委員の皆様から紹介いただき、総合的な学習の時間に、4年生「フルーツパーク、ワイナリー見学」、5年生「マコモダケ栽培」の学習を取り入れ、地域との繋がりを広げました。子どもたちは、体験を通してさらに地域を身近に感じることができました。

また、学校運営協議会委員の皆様からクラブ体験道場にも参加していただき、子どもたちに寄り添った支援をしてくださいました。他にもさまざまな教育活動において、子どもたちの成長を見守り励ましていただきました。学校職員一同、子どもたちの成長を地域の皆様と共に共有できることの喜びを改めて実感しました。

>> 合同防災訓練 <<

10月18日（金）は、地域合同防災訓練を行いました。5、6年生は、避難してきた地域の皆さんに名簿の記入をお願いしたり、待機場所へ誘導したりしました。その後全校児童は、地域の皆さんと、胎内市総務課防災対策係の方から避難時に気を付けることや、三角巾や新聞紙を使った防災グッズの作り方を教わりました。うまく三角巾を結べない時には、地域の方が教えてくださる場面が見られました。また、新聞紙を利用したスリッパを協力して作り上げることもできました。

委員や職員からは、「実際の避難時には、小学生が地域の方の名簿を確認する活動はしないのではないか。であれば、別の視点からの防災訓練を検討してもよいのでは。」といった意見が出されました。しかし、「そのような活動を行うための訓練ではなく、そういった活動が、万が一の時、地域が支え合うためのきっかけとなる活動ではある。」ということを確認し、次年度の実施方法について今後協議していくことになりました。



第4回コミュニティ・スクール学校運営協議会

第4回は、3月8日（金）に行いました。4回目は、学校運営協議会委員の皆様と、学校職員が参加しました。

学校からは、今年度の取組の反省点や課題について説明を行った後、次年度にも同様の活動を計画することをお伝えしました。また、総合的な学習の時間に地域と連携を進めながら、地域の困り感を児童に自分事ととらえさせるための方法や手立てなどについて、協議しました。地域と学校の想い、願いを共有し、新たな課題探求型の総合的な学習の時間をどのように組み立てていくのか、委員の皆さんのご意見等を伺いました。

例えば…

4年生では、馬頭観音祭を社会科の授業内容と関連させて学習させたいと考えています。学習するにあたり、「地域の困り感や想いはありませんか」とお聞きしたところ、地域の祭りについて、委員の皆様から「子どもの数が減っている」「伝統芸能の継承が難しい」などといったお話が聞かれました。

5年生は、「稲作ではなく、米粉に特化して学習を進めたい」と伝えたところ、委員から米粉について詳しい方をご紹介いただけることになりました。

そして、最後に教育委員会の山沢指導主事から、小中学校の9か年、連携を取りながら進めていってほしいとご指導いただきました。

この他にも、地域の皆様の想いをたくさんお聞きすることができました。これから、学校職員が地域に出向き、ご協力をお願いすることがあると思いますが、どうぞいろいろなことを教えてください。中学校とも連携を図りながら、地域と共に歩む学校づくりに励んでまいります。

今年度も学校のためにさまざまな教育活動にご協力いただきました地域の皆様、保護者の皆様に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。



総合的な学習の時間についての説明



黒川小学校ホームページ



<https://tainai-kurokawa-es.edumap.jp>

学校ホームページもご覧ください！

